

政策会議 会議録

日 時 令和3年2月26日(木) 14時00分～15時20分

形 式 オンライン会議 (Teams)

出席者 中村市長、田中副市長、北岡教育長、山本政策審議監、松本市長公室長、丸山総務企画部長、佐藤財務部長、桑原市民環境部長、小林健康福祉部長、中経済文化交流部長、
沖田農林水産部長、潮崎建設部長
付議依頼部課：総務企画部情報政策課 橋口係長
経済文化交流部文化振興課 鋤田課長

議 事 付議事項

・審議事項

(1) デジタル社会の実現に向けた基本方針の策定について【情報政策課】

(2) 八代市厚生会館の今後の方針について【文化振興課】

内 容

1 開会

(事務局)

只今から、政策会議を開会します。

これ以降の審議については市長にお願いします。

2 付議

・審議事項

(1) 「デジタル社会の実現に向けた基本方針の策定」について

(中村市長)

政策会議に付議されている案件は、審議事項2件。

それでは、「デジタル社会の実現に向けた基本方針の策定」について、情報政策課から説明をお願いします。

(橋口情報政策課情報化推進係長)

－資料により、付議内容の説明－

(中村市長)

質問、意見等ないか。

(山本政策審議監)

これは、国の方針が当初予測より駆け足になっているために、それを受けた方針を市としてもたてたという要素が強いもの。デジタル化が地方自治体にとって差し迫った重要な案件だという

ことを共有する、危機意識を共有する、方向性を共有するという意味での方針になり、その観点から皆様のご意見をいただければと思う。

(中村市長)

本市は、いち早く取り組んでいる方だと思うが、これからが大事なところ、入口である。確実にしていくためにも、皆様方の意見が必要じゃないかと思う。いろいろな意見を言っていただきたい。

(潮崎建設部長)

この方針は、社会情勢がこういう方向なので特段問題はないと思う。来年度、具体的な取り組みを取りまとめるということだが、予算措置が必要か。また、進めていく中で職員の人的能力は現状で言うのか、それとも集中的に人員確保して進めていくべきなのか。

最後にスマートシティへの申請という話があったが、申請の具体や手をあげれば採択されるものなのかなどがわかれば教えてほしい。

(橋口情報政策課情報化推進係長)

予算については、来年度予算で、デジタル化の推進に関する予算ということで750万円上げている。内容としては、基本計画策定委託料として500万円、その他策定にあたっての外部委員会の費用弁償等事務費となっている。

人的能力に関する取り組みとして、市役所内のデジタル人材の育成を考えている。職員の能力開発も含めて計画の中に書いて進めていく。

スマートシティ推進事業への申請については、現在、政策審議監、総務企画部、企画政策課、総合支援担当と連携を取りながら進めており、採択されるように進めていきたい。

(潮崎建設部長)

予算については、デジタル化に向けて進めていけば、将来的に末端機械や環境整備のハード部分の機器類を備えることも考えていく必要があるか。

(橋口情報政策課情報化推進係長)

必要な事業を進めていく上では、予算化が必要になると思う。

(山本政策審議監)

システムや機器を入れることでプラスの面もあると思う。例えば、八代市は思い切ったデジタル化を進めているという、シティプロモーションの一環としてのメリットはあると思う。

ただ、基本的には、他の自治体で費用対効果を実証されたものや、国が安定したシステムとして組み立てたものを積極的に入れていくのが一番安全かと思う。その中で、八代市独自の課題、例えば地理的な課題、中山間地域がり平野部もあり人口に偏りがあり、といった課題を解決するためには、一歩進んだものになるかもしれない。

(潮崎建設部長)

了解した。ある程度内容が具体化し実際取り組むようになれば、費用も当然検討なざるものと思う。よろしく願います。

(北岡教育長)

3 ページの「(1) 社会情勢の変化」の最初の部分に主語がないので、「八代市は～」などとした方がいかと感じた。

(橋口情報政策課情報化推進係長)

事務局で検討する。

(山本政策審議監)

Windows の Teams とタブレットが全部に入るのは最短でどれくらいか。

(丸山総務企画部長)

4 年くらい。

(山本政策審議監)

Teams が全端末に入りシステムに慣れれば、テレワークも可能になる。さらに全体的な働き方が底上げされる。その上で、今取り組んでいる DX 研修でアプリケーションやデザインなど技術を身に着けた職員が、年に 20~40 人ぐらいつ積み重なっていけば、3~4 年でかなりいい影響が出てくると思う。いろいろな業務で課題発見及び解決能力が上がってくるのではないか。

(中村市長)

目標を立てたほうがよいのではないか。

(丸山総務企画部長)

具体的な目標も必要だと思っている。今回基本方針を策定し、その後、基本計画を来年度中に立てたいと思っているので、その中で明確にしていく。

(中村市長)

基本方針も基本計画も同時にはできないか。急いだほうがよい。

(丸山総務企画部長)

できるだけ急ぐ。来年度、夏までには計画を立てたいと考えている。

(山本政策審議監)

地場の企業やタクシー会社、農家の方など、いろいろな方を巻き込む必要がある。

(中村市長)

地元にも長けた人がいると思うが、把握はできているのか。

(丸山総務企画部長)

まだ調査や取りまとめは行っていない。各部署で把握している分もあると思うので調査する。

(中村市長)

他にはないか。

では、基本方針については提案のとおり進めてよいか。

(全員)

はい（異議なし）。

(中村市長)

それでは進めることとする。

(2) 八代市厚生会館の今後の方針について

(中村市長)

次に2件目、「八代市厚生会館の今後の方針」について、文化振興課から説明をお願いします。

(鋤田文化振興課長)

－資料により、付議内容の説明－

(中村市長)

質問等はないか。

(沖田農林水産部長)

大規模な改修を必要としないスペースとはどこか。

(鋤田文化振興課長)

ホールは吊り天井や床の大規模改修が必要。ホワイエ、ピロティは、さほどお金をかけずに利用できるのではないかと考えている。令和3年度中に検討できればと思っている。

(沖田農林水産部長)

ホワイエだけを借りたいと言うニーズもあるのか。

(鋤田文化振興課長)

全体を借りたい、またはホワイエだけを借りたいというニーズがあるかどうかも含めて検討したい。文化ホール等あり方検討会では、展示ができるスペースやピアノ演奏ができるスペースがあったらいいという話もあった。いろいろなことを想定しながら、令和3年度中に検討したい。

民間提案制度については、行政の施設としてだけではなく、民間が出資できるような方法も検討できればと考えている。

(潮崎建設部長)

8ページの4つの方針のうち4番目について、新しい施設も今後検討していくとなっているが、今回の付議内容は、厚生会館そのものの今後のあり方を論議するものであり、新しくホールを造る、造らないという内容は今回の議題にふさわしくない。別途、政策会議へご提案願いたい。

(鋤田文化振興課長)

私共も、文化ホール等あり方検討会や市民アンケートを踏まえて、厚生会館のホールの機能を停止するという結論に至った。機能停止とあわせて、新たな施設についても検討することは、市民の皆様のご意見だと思っている。機能停止だけで終わるのではなく、4番目の方針も合わせて市民の方々にお知らせしたいという方針案である。ご理解いただきたい。

(潮崎建設部長)

そうであれば、付議依頼書の件名を修正すべきではないか。「八代市文化ホールの今後の方針」という件名であれば理解するが、「厚生会館の今後の方針」ということであれば、説明と質疑がずれる。

(鋤田文化振興課長)

文化ホールは他に千丁、鏡、桜十字ホールがあるが、文化ホール全体の方針としてはまだ足りない部分があるため、今回はあくまでも厚生会館の機能停止というところにフォーカスを当てて提案したところ。市民の方々にご理解いただくためには、4番目の方針案は必要な部分であると思っている。

(中経済文化交流部長)

文化ホール等あり方検討会で議論いただいた中で、厚生会館は八代市の文化の殿堂として必要だという非常に強い意見があった。その中で結果的に、厚生会館のホールの機能を停止するという方向性についてご理解をいただいたことについては、4番目の方針である、「将来の拠点についても合わせて検討していく」ということをセットで考えて了解を得ている。それが必要だからこそ、厚生会館ホールは機能停止してよいという意見であったと認識している。

もし今回、厚生会館のホールの機能停止だけを公表するのであれば、それは検討会の皆さん方の総意を表すものではないと考えており、敢えて、併せて検討するということを入れさせていた

だいた。

(潮崎建設部長)

あり方検討会において、4つのホールがあり、数を減らして新しいものを造ると言うのであれば十分理解するが、少なくとも厚生会館については50年以上経過し、構造的にもいずれは解体しなければならないという方向性さえ入れずに、とにかく、価値があるので残しておこうというのが現状。そして、他のホールも残しながら、また新しいものを検討しようとしている。

市の政策的な考えとして、施設は統廃合していくというのが基本的なスタンスだと思うが、方向性がぼやけているので、新しい施設の検討については別のテーブルで議論してはどうかと意見したところ。

(中経済文化交流部長)

文化ホール等あり方検討会の報告書を見ていただくとわかるように、厚生会館以外の3つのホールについてはしっかり活用してほしいということである。3つのホールも含めてどれを取捨選択して新しいものを検討する等については、時期尚早だと考えている。

4番目の方針案では、新たな拠点を検討して行くときには、残り3つのホールも含めて統廃合なども考えながら、大きな施設を造るということを考えていかないと結論は出ないと思っている。しかし、現時点ではそこまで網羅して方針を出すことができないと考えている。

喫緊の課題として、伝承館の設計を始めるときには、同時に開館するつもりであった厚生会館を再開しないということについて、市民の方々に示す必要が迫っている。そのために、厚生会館のホールは機能停止することをまずは決めていただく必要がある。ただし、それだけでは理解を得ないので、4番目の方針案を示したところである。

(潮崎建設部長)

理解した。ただ、4番目の項目の中に「統廃合も含めた」などの言葉を入れることはできないのか。

(鋤田文化振興課長)

「将来への負担や他の公共施設の建替え時期等も踏まえながら」というところが、そのつもりで書いているところであるが、ご指摘のとおり、修正する方向で検討する。

(中経済文化交流部長)

我々も、新しい施設を造るにあたっては、必ず統廃合を含めて検討する必要があると考えている。そのような表現をしたつもりであったが、曖昧ということであるので、統廃合しながら新しい拠点施設を考えていくということがわかるようにしたい。

なお、「他の公共施設」とは、ホールだけではなくスポーツ施設等も併せて考えるという意味で、「他の公共施設の建替え時期」と記載した。

(山本政策審議監)

この方針はどのように公表するのか。文化ホール等あり方検討会の報告を踏まえて、文化ホール全体の方針として公表するのか。

文化ホール等あり方検討会から、文化ホール全体に関して検討していただいた報告書が出されて、それに対する回答を厚生会館のみに絞ってしまえば、最初からあり方検討会自体が厚生会館に対して答えがほしかっただけと見られてしまうのではないか。

(中経済文化交流部長)

現時点で、厚生会館を含めた4つのホール全ての方針を出すことは非常に難しいと考えている。ただし、厚生会館のホールを再開しないということについては、伝承館が開館する時期までには言わなければならないので、厚生会館については方針を出したい。厚生会館の機能停止のみを示して新たな拠点については示さないというのは厳しいというのが我々の考えである。

(中村市長)

厚生会館の改修には約21億円が見込まれている。維持管理に年間約4000万円がかかる。

石巻市は東日本大震災後、創造的復興に向けたアンケートでの意見を踏まえ、1,300席の大ホールを造ったが、維持管理に年間約2億円がかかり困っているという話である。

文化関係の方々からは理解を示すような話もしていただいた。市民にも理解してもらえるようなことをしていけばいいのではないか。

(北岡教育長)

厚生会館については、やはり市民の意識、関心が非常に高いところなので、ホールの機能を停止するというのであれば、担当部や担当課の判断ではなく、政策会議を通しておいた方が良いと思う。

4番目の将来の方向性の部分については、必要な部分ではないかと思う。全く触れずに機能停止だけを示すというのは非常に厳しいのではないかなと思う。将来、長年にわたっての検討ということになるかと思うが、そのような文言が入っていればいいのではないかと思う。

(潮崎建設部長)

では、4番目の文章を「ホールの再編等も踏まえながら」というのが読み取れるような文章にしてくださいということで、理解したいと思う。

(中経済文化交流部長)

ご指摘の部分については、しっかり読み取れるような文章として作り直す。

(潮崎建設部長)

今後、新たなホールの建設となった場合は、もちろん政策会議に諮られると思うので、既存ホールの再編という形での新しいホールの建設というようなことを、しっかり丁寧に考えて、進め

ていただきたいと思う。

(中経済文化交流部長)

担当課としっかり検討していきたいと思っている。

(中村市長)

他にはないか。

(桑原市民環境部長)

先日の次長会では、廃止や解体すべきではないかという意見もあったようだが、その辺については並行して検討していくのか。

(鋤田文化振興課長)

令和3年度中に、大規模改修を必要としないスペースの活用可能性や方策を検討することとしているが、活用策が出て来なかった場合は、解体も考えていかなければいけないと思っている。

(中村市長)

他にはないか。

いろいろな意見を出してもらった。意見を反映し、進めてよいか。

(全員)

はい(異議なし)。

(中村市長)

それでは、そのように進めることとする。

—終了—

3 閉会